



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 ホソカワミクロン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6277 URL <http://www.hosokawamicron.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田清巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理本部本部長 (氏名) 井上鉄也

TEL 072-855-2225

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日

平成25年6月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	21,527	20.1	1,766	20.1	1,836	22.9	1,259	26.5
24年9月期第2四半期	17,926	14.0	1,470	64.0	1,494	74.8	995	89.3

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 3,544百万円 (118.4%) 24年9月期第2四半期 1,622百万円 (111.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	30.43	30.38
24年9月期第2四半期	24.06	24.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	45,330	24,051	53.0
24年9月期	42,618	20,705	48.5

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 24,023百万円 24年9月期 20,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	4.00	—	5.00	9.00
25年9月期	—	6.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	0.7	4,000	2.4	3,900	0.9	2,500	13.2	60.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	43,076,347 株	24年9月期	43,076,347 株
25年9月期2Q	1,703,290 株	24年9月期	1,699,401 株
25年9月期2Q	41,375,493 株	24年9月期2Q	41,383,915 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、出遅れていた住宅市場の改善や強力な金融緩和策に下支えられ、緩やかな成長を続けております。一方、欧州は財政緊縮と構造改革の影響で南欧経済の落ち込みが続いていることに加え、これまで牽引役を果たしてきたドイツ等北部の国々にも世界的な景気減速の影響が表れております。アジアにおいては、欧州債務危機の影響により輸出が低迷し、個人消費や投資にも陰りがみられております。中国においては金融緩和を進め、インフラ投資を実施し景気下支えに動き始めておりますが、消費の弱さが目立ちインフラ投資拡大が全体の消費回復につながりにくい状況となっております。日本は、デフレ脱却と持続的な経済成長の実現のため政策を総動員した結果、消費は回復傾向にあります。企業は設備投資を増やすことに慎重で先行き景気は不透明となっております。

このような経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は228億7千3百万円(前年同期比1.9%の減少)、受注残高は177億3千万円(前年同期比9.3%の減少)、売上高は215億2千7百万円(前年同期比20.1%の増加)となりました。

利益面におきましては、期初の受注残高が多かったことによる増収効果などにより、営業利益は17億6千6百万円(前年同期比20.1%の増加)、経常利益は18億3千6百万円(前年同期比22.9%の増加)、四半期純利益は12億5千9百万円(前年同期比26.5%の増加)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①粉体関連事業

当事業は、粉碎・分級装置、混合・乾燥装置及び日本市場においての大気汚染防止装置、製品捕集用集塵装置、精密空調制御装置等の製造販売、複合ナノ粒子を中心とした新素材開発とその商品化並びに微粉体受託加工サービスを提供するホソカワミクロングループの主力分野であります。食品市場向けや化学市場向けなどの受注が堅調に推移したほか、期首受注残高が多かったことから、売上高は増加いたしました。

この結果、受注高は188億3千4百万円(前年同期比7.2%の増加)、受注残高は144億1千4百万円(前年同期比5.0%の減少)となり、売上高は173億7千2百万円(前年同期比21.7%の増加)、セグメント利益(営業利益)は22億1千3百万円(前年同期比20.2%の増加)となりました。

②プラスチック薄膜関連事業

当事業は、単層から多層の各種プラスチック高機能フィルム製造装置の開発・製造・販売を行っております。

全般的に受注の決定が遅延しており、結果として受注高は減少しました。売上高は前期からの繰越注残案件が多く増加となりました。

この結果、受注高は31億5千万円(前年同期比22.1%の減少)、受注残高は27億9千2百万円(前年同期比9.0%の減少)となり、売上高は30億9千1百万円(前年同期比14.2%の増加)、セグメント利益(営業利益)は7千6百万円(前年同期比38.2%の減少)となりました。

③製菓関連事業

当事業は、欧米を中心にハードキャンディ、チョコレート、ペーカリーなどの製菓装置の開発・製造・販売を手掛けております。大型案件の受注決定が伸びているため受注高は減少しておりますが、期首受注残高が多かったことにより売上高は増加いたしました。

この結果、受注高は8億8千8百万円(前年同期比47.5%の減少)、受注残高は5億2千3百万円(前年同期比60.3%の減少)となり、売上高は10億6千3百万円(前年同期比12.2%の増加)、セグメント損失(営業損失)は7千1百万円(前年同期は1千5百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ、総資産は主に現金及び預金、たな卸資産、有形固定資産の増加により27億1千1百万円増加し、453億3千万円となりました。

負債は前受金、退職給付引当金が増加しましたが、支払手形及び買掛金の減少などにより、6億3千4百万円減少し、212億7千9百万円となりました。

純資産は、為替が円安に振れたことにより為替換算調整勘定のマイナスが減少したこと及び利益剰余金の増加などにより、33億4千5百万円増加し、240億5千1百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億9千5百万円増加し、69億7千万円(前年同期比5.0%の減少)となりました。各キャッシュ・フローの概要は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは15億1千万円の増加(前年同期比7千3百万円の減少)となりました。資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少がある一方、資金の減少要因は、たな卸資産の増加、仕入債務の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9億1千2百万円の減少(前年同期比4億6千1百万円の減少)となりました。主として有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3億5千4百万円の減少(前年同期比2千4百万円の増加)となりました。主として長期借入金の返済、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度の税金等調整前四半期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じた税金費用を計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,126	7,011
受取手形及び売掛金	12,731	11,502
有価証券	156	186
製品	2,085	2,610
仕掛品	2,079	2,416
原材料及び貯蔵品	1,916	2,189
繰延税金資産	449	434
その他	850	1,116
貸倒引当金	△170	△173
流動資産合計	26,226	27,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,278	7,783
機械装置及び運搬具（純額）	1,566	2,048
土地	4,749	4,778
建設仮勘定	606	1,040
その他（純額）	421	465
有形固定資産合計	14,623	16,115
無形固定資産		
のれん	22	18
その他	296	277
無形固定資産合計	318	296
投資その他の資産		
投資有価証券	630	800
繰延税金資産	540	519
その他	295	316
貸倒引当金	△15	△13
投資その他の資産合計	1,450	1,622
固定資産合計	16,392	18,034
資産合計	42,618	45,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,608	4,516
短期借入金	12	7
1年内返済予定の長期借入金	384	696
未払費用	1,852	1,936
未払法人税等	600	446
繰延税金負債	159	183
前受金	3,254	3,515
賞与引当金	454	292
役員賞与引当金	71	47
製品保証引当金	595	778
設備関係支払手形	0	3
その他	1,292	1,224
流動負債合計	14,287	13,646
固定負債		
長期借入金	3,418	3,024
退職給付引当金	3,847	4,295
繰延税金負債	174	127
資産除去債務	29	29
その他	155	155
固定負債合計	7,625	7,632
負債合計	21,913	21,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,496	14,496
資本剰余金	5,206	5,206
利益剰余金	9,434	10,486
自己株式	△1,283	△1,286
株主資本合計	27,853	28,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△124	35
為替換算調整勘定	△6,686	△4,493
在外子会社の年金債務調整額	△354	△421
その他の包括利益累計額合計	△7,164	△4,879
新株予約権	16	27
純資産合計	20,705	24,051
負債純資産合計	42,618	45,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	17,926	21,527
売上原価	11,238	13,959
売上総利益	6,687	7,567
販売費及び一般管理費	5,216	5,800
営業利益	1,470	1,766
営業外収益		
受取利息	19	23
受取配当金	4	3
持分法による投資利益	8	10
為替差益	22	67
その他	36	28
営業外収益合計	91	133
営業外費用		
支払利息	23	21
その他	43	41
営業外費用合計	67	63
経常利益	1,494	1,836
特別利益		
固定資産売却益	76	51
特別利益合計	76	51
特別損失		
固定資産処分損	0	37
減損損失	—	17
特別退職金	19	10
その他	0	—
特別損失合計	21	65
税金等調整前四半期純利益	1,550	1,822
法人税等	554	563
少数株主損益調整前四半期純利益	995	1,259
四半期純利益	995	1,259

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	995	1,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	159
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	593	2,192
在外子会社の年金債務調整額	△3	△67
その他の包括利益合計	626	2,284
四半期包括利益	1,622	3,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,622	3,544
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,550	1,822
減価償却費	424	451
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	△24
賞与引当金の増減額(△は減少)	△111	△162
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	△24
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△108	77
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△137	24
受取利息及び受取配当金	△23	△27
支払利息	23	21
持分法による投資損益(△は益)	△8	△10
固定資産売却損益(△は益)	△75	△51
固定資産処分損益(△は益)	0	36
減損損失	—	17
売上債権の増減額(△は増加)	1,129	2,439
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,548	△228
仕入債務の増減額(△は減少)	537	△1,412
前受金の増減額(△は減少)	985	△266
その他	△410	△488
小計	2,222	2,195
利息及び配当金の受取額	23	25
利息の支払額	△24	△20
法人税等の支払額	△637	△690
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,584	1,510
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	10
有形固定資産の取得による支出	△350	△1,048
有形固定資産の売却による収入	86	132
無形固定資産の取得による支出	△186	△16
短期貸付金の回収による収入	—	8
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△451	△912
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△92	△7
長期借入れによる収入	—	50
長期借入金の返済による支出	△99	△188
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△186	△206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△379	△354
現金及び現金同等物に係る換算差額	274	652
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,028	895
現金及び現金同等物の期首残高	6,308	6,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,336	6,970

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	14,271	2,706	948	17,926	—	17,926
セグメント間の内部売上 高又は振替高	23	—	—	23	△23	—
計	14,294	2,706	948	17,949	△23	17,926
セグメント利益	1,841	124	15	1,981	△510	1,470

(注) 1 セグメント利益の調整額△510百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注2)
	粉体関連事業	プラスチック 薄膜関連事業	製菓関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,372	3,091	1,063	21,527	—	21,527
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9	—	0	10	△10	—
計	17,382	3,091	1,064	21,537	△10	21,527
セグメント利益又は損失 (△)	2,213	76	△71	2,218	△451	1,766

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△451百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。